

音楽の世界で今何が起きている??

阿部 竜之介 『Pepeの視点』

May / 13 / 2016 # 38

Trombone & Euphonium奏者の阿部竜之介(Pepe)です。

このメールマガジンでは、僕から見た今の音楽の世界で起きていること、また演奏に関するヒントなどをお届けしていきます。

またメルマガ内でもいろいろな質問に答えていこうと思っていますので、どんどん質問してきてくださいね！

INDEX

[1] 旬な話題、気になる話題

『楽器のこと』

[2] Pepeのひとりごと

『リサイタルを聴いて』

[3] おすすめ動画

『Metropolis 1927 - Peter Graham door Brassband Buizingen』

『Roland Szentpáli: Ballade - HNPO - Budapest』

[4] 演奏のヒント！

『循環させてみる?』

[5] 編集後記

[1] 旬な話題、気になる話題

『楽器のこと』

今回は、僕が4月から吹いている新しい楽器（Trombone）の詳細について書きますね。

（興味のない人、ごめんなさい!）

まず、楽器本体はYAMAHAのYSL-882GORです。

僕は基本的に楽器のカスタマイズ（改造?）というのはやりたくないと思っているので、これまでも特別なことはほとんどやっていないのですが、

今回は、楽器を選ぶ時点でいろいろと試す機会を持つことができ、今の自分にとって最適なものになるようカスタマイズしていただきました！

大きく変わったことは、本体とスライドセクションのジョイント部分です。ここを、太いものに換えてもらいました。

太いものというのは、Bass Trombone用のものです。

ここの部分、聞いたところによると、世界でもYAMAHAだけがTenor-BassのものとBassのもので太さが違うのだそうです（他のメーカーは同じ太さだそうです）。

なので、僕は今回この部分を通常のYAMAHAのものよりは太くしましたが、他のメーカーのもの比べて太くしたわけではありません。他のメーカーのものと同じ太さになったってことです（笑）。

しかし、これで特に中音域がとっても吹きやすくなりました！！ :D

他にオリジナルと違うことは、バランサー（重り）を付けたことです。前まで吹いていた楽器（YSL-882GO）には最初からバランサーが付いていましたが、今回の楽器には付いていません。

僕にとってはないと前後の重さのバランスがよくなかったので、付けました（別売りで誰でも買うことが可能です）。

最後に、ロータリーヴァルヴのキャップも変えました。

ダグラス・ヨーモデルのキャップ（これは前から使っていました）で、それを金メッキしてもらいました。

試してみて初めて知ったのですが、メッキが変わると音もかなり違ってきます！（キャップだけでも！！）

以上です。

興味のある人は、ぜひ自分の楽器でも試してみてくださいね！ ;)

P.S. ロータリーヴァルヴのレバーの親指のところが滑るのが嫌で、僕は自分でワインボトルのコルクキャップに穴を開けて付けました。

今のところ、いい感じですよ～。 :D

[2] Pepeのひとりごと

『リサイタルを聴いて』

先日、京都であった我がオーケストラの首席ソロ・コンサートマスター、森下さんのヴァイオリン・リサイタルを聴きに行きました。

ずっと前から彼のソロの演奏に興味があって聴きたいと思っていたんです。

長い間気になっていただけのことはあり、とっても充実した時間を

過ごすことができました！！：)

彼の音楽性はもちろん、僕にとっては特に彼の音の扱い方にとっても興味を惹かれました。

「音の扱い方」と聞いてもピンと来ない人もいますか？

ここで僕が言いたいのは、例えば弓の圧（管楽器で言うと息の圧）のかけ方や抜き方、スピードの緩急の塩梅、ヴィヴラートのタイミングや大きさなどなど、音に関するすべての扱い方（コントロールの仕方）です。

自分のそれと同じようなところがあると、つい「ニヤッ」としてしまったり、違うところがあると、「お、そうくるのかぁ」と感心したり、とってもエキサイティングな時間を楽しむことができました。：D

そう頻繁に生で彼のソロを聴くことはできないので、今はCDで楽しんでいます。一人でも多くの方にぜひ森下さんの演奏を聴いてもらいたいと思います。：)

[3] おすすめ動画

『Metropolis 1927 - Peter Graham door Brassband Buizingen』

[https://www.youtube.com/watch?](https://www.youtube.com/watch?v=RRmRzM4cl8o&list=FLMnqqdLPBhh36yGuKu08PSg&index=2)

[v=RRmRzM4cl8o&list=FLMnqqdLPBhh36yGuKu08PSg&index=2](https://www.youtube.com/watch?v=RRmRzM4cl8o&list=FLMnqqdLPBhh36yGuKu08PSg&index=2)

今月一つ目の動画は、ブラスバンドです。

この動画での1番Euphoniumは、友人のGlenn（van Looy氏）です！：)

この演奏、ブラスバンドのいろいろないいところが1曲にあると思うので、楽しめると思いますよ！

今は日本でも各地で頑張ってくれている人がたくさんいて、全国各地でブラスバンド（吹奏楽ではなく、英国式ブラスバンドのことです）を楽しめる環境がかなり増えてきました。

こういう演奏を聴いてブラスバンドファンが1人でも増えるといいなあ。：)

『Roland Szentpáli: Ballade - HNPO - Budapest』

[https://www.youtube.com/watch?](https://www.youtube.com/watch?v=12IXDYZY5wE&index=9&list=FLMnqqdLPBhh36yGuKu08PSg)

[v=12IXDYZY5wE&index=9&list=FLMnqqdLPBhh36yGuKu08PSg](https://www.youtube.com/watch?v=12IXDYZY5wE&index=9&list=FLMnqqdLPBhh36yGuKu08PSg)

2つ目の動画は、久しぶり（？）にTubaの演奏を。

演奏はこれも友人（というか親友です。笑）のRoland（Szentpali氏）で、曲は彼自身が作曲したTubaとString Quartetのための「Ballade」です。

やっぱり僕は、彼の演奏が好きですねえ。

音の扱い方や音楽の作り方など、いろいろとじっくりくるところが多いです。：)

[4] 演奏のヒント！

『循環させてみる？』

「循環呼吸」という言葉を聞いたことがありますか？
管楽器の奏法の一つで、音を出しながら（音を切らないで）息を吸って演奏し続ける奏法のことです（要するに、息継ぎをしないで吹き続けることです）。

簡単ではないのですが、できるようになればいろいろと自分の音楽表現の可能性は広がっていきますので、興味のある人はぜひ試してみてくださいね！

循環呼吸のやり方や練習のやり方を書くと長くなってしまいますので、ここでは省こうと思います。
きっとネットで探すといろいろと出てくると思うので、いくつか見てみて試して下さい。 ;)

*数年前、バンドジャーナル誌のワンポイントレッスン用に作った動画の中で、僕が循環呼吸の練習で使ったエチュードの紹介をしています。
参考に一つにしてみてくださいね。

<https://www.youtube.com/watch?v=RcigWAYJ-5I&index=23&list=PLVTxZF9fjY058leUZAJB6ZxLTNcDdrBt2>

可能なら、3つ4つの方法を試した方がいいですよ。
その上で、自分に一番いいやり方を見つけてやってみてください。
僕の経験上、人によってやりやすいもの、コツがつかみやすいものは違ってきますので。 ;)

ちなみに、今月紹介している動画の一つ目で、Glennが演奏中に循環呼吸で演奏しているのがちょうど映っていますよ（前に出て吹いている時です）。
まだまだ日本ではあまり使っている人がいない奏法ですが、ヨーロッパではかなり前からこうして普通に使われている奏法です。

気づかなかった人は、また見てみてくださいね～！ ;)

編集後記

先月号は少し前に書き終わって余裕だったのですが、今月は毎度のように朝になって仕上げるという状況になっています（笑）。
なかなか思ったように世の中進まないものですねえ。 ;)

暑くなってきたかと思ったら朝晩かなり冷える日があったりと、体調管理が
とても難しい日が続きますね。

みなさん、毎日元気に過ごせていますか？

僕は、4月5月とオーケストラが忙しくないので、いろいろと部屋の片付けや
書類の整理、自分の練習などをやっています。

6月からはかなり忙しくなるので、今のうちにやっておかないといけないことは
済ませておこうと思って頑張っています。

しかし、時間が進むのは本当に速いですねえ・・・。

もう2016年も1/3が終わり、その5月も1/3が過ぎました。

数カ月後に「何もできなかった～」と嘆くことにならないよう、「今」を
大切に毎日精一杯過ごしていきます！ :)

阿部 竜之介(Pepe) オフィシャルウェブサイト

<http://www.pepeabe.com>

ご意見、感想、質問などはメールでどうぞ！

info@pepeabe.com